

重要取組シート

市長公室 企画部 企画推進担当

取組項目		水素エネルギー社会構築事業
現状・課題		<p>【現状】</p> <p>環境モデル都市である堺市には、日本最大規模の液化水素供給プラントをはじめ、臨海部を中心に水素に携わる企業等が多く存在している。この恵まれた環境を活かし、ビジネスチャンスの拡大につなげるため、大阪府立大学及び21の民間企業・2団体と産学公連携体制「堺市水素エネルギー社会推進協議会」を構築し、堺市水素エネルギー社会構築ロードマップをH28年7月に策定した。</p> <p>【課題】</p> <p>商用水素ステーションはじめ、水素需要がまだ十分見込まれないうえ、高圧ガス保安法等の規制により、水素関連のコストは高く採算ベースにのらないのが現状。民間企業にとって、将来的に先の見えにくい水素市場への先行投資はリスクが高い。その中で、経済的に自立できるような将来の水素利活用モデルや、また臨海部における将来の水素ネットワーク拠点（HUB）構築に向けたシナリオ等を産学公連携のもと示していく必要がある。</p>
取組みの内容		<p>当ロードマップでは、中長期的な構想として、「つくる・つかう・ひろげる～水素でひらくクリーンな未来」を基本理念に、3つの構想のもと取組を推進している。</p> <p>①「水素エネルギーコンビナート構想」 ②「スマート水素エネルギータウン構想」 ③「水素エネルギー産業クラスター構想」</p> <p>これら構想の実現に向け、協議会メンバーと連携しながら以下の取組みを進めていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○商用水素ステーションの市内への誘致を図る ○堺臨海部における水素HUB構築に向けたシナリオ等、ビジョンの検討 ○堺市の特性を活かした水素利活用モデルの構築検討 ○水素需要喚起に向けたセミナーやイベント開催等による普及啓発・情報発信
スケジュール	前期 （～7月）	<input type="checkbox"/> 第1回協議会開催（6月頃）、水素ステーション誘致活動（6月頃）
	中期 （～11月）	<input type="checkbox"/> 臨海部の水素HUB構築に向けたビジョンや、市街地の水素利活用モデルの構築検討（8月頃～） <input type="checkbox"/> 水素のイベント開催（10月頃） <input type="checkbox"/> 第2回協議会開催（11月頃）
	後期 （～3月）	<input type="checkbox"/> 水素のイベント開催（12月頃）（燃料電池バス試乗会） <input type="checkbox"/> 企業向け水素セミナー等の開催（2月頃） <input type="checkbox"/> 水素のイベント開催（2月頃） <input type="checkbox"/> 第3回協議会開催（3月頃） <input type="checkbox"/> 臨海部の水素HUB構築に向けたビジョン作成や水素利活用モデルの構築（3月頃）
	31年度以降	<input type="checkbox"/> 水素利活用モデルの推進

進捗の状況	前期 (~7月)	<input type="checkbox"/> 第1回協議会開催(6月)、水素ステーション誘致活動(4月~)
	中期 (~11月)	<input type="checkbox"/> 臨海部の水素 HUB 構築に向けたビジョンや、市街地の水素利活用モデルの構築検討(8月~) <input type="checkbox"/> 水素のイベント開催(10月20・21日) <input type="checkbox"/> 第2回協議会開催(11月19日)
	後期 (~3月)	<input type="checkbox"/> 水素のイベント開催(12月9・10日)(燃料電池バス試乗会) <input type="checkbox"/> 企業向け水素セミナー等の開催(1月25日) <input type="checkbox"/> 水素イベント開催(2月23・24日) <input type="checkbox"/> 第3回協議会開催(3月29日) <input type="checkbox"/> 水素ビジョン(案)の作成(3月)